

2005 年 IJCA World Council Meeting

日時:9 月 9 日(金)9 時~20 時

場所:イギリス、ウェイマース、WPSA にて

出席者:畠山知己

通訳者:鈴木祥子

2005 年度 IJCA World Council Meeting 報告

2005 年 9 月 9 日

Weymouth & Portland National Sailing Academy

○IJCA トピック 討議

・IJCA の透明化

理事会において論議・決定される内容が不透明だという批判を受け、IJCA のウェブサイト上に WCM の議事録や次回 WCM の討議されるべきクラスルール改正案件などがアップロードされるようになった。しかしながら、その告知内容は実際セイラーにまで浸透していないのが現状であり、各国 NJCA の事前準備、リサーチが不足していることが浮き彫りになった。

○ルール／計測に関する討議

- ・ 新型スポーツボートの登場によるクラス人口の流出を防ぐため、厳格な規則や計測を簡易化し、形骸化した必要備品を撤廃するなど、艇の維持コストの負担減、現セイラーの希望や実情に沿うクラスルール作成を目指す。ただし、急激なセーリング重量の軽減などは、それに合わせるのが困難な艇のレース離れを招くという懸念もある。
- ・ ルール改正のプロセスに関しては、ウェブサイトや E-mail の利用による過剰なコミュニケーションがかえって遅延を招くという指摘もある。
- ・ テクニカルな問題でルール改正がスムーズに行われたいのは、テクニカルコミッティーに発言権が集中し過ぎているとの見方から、エグゼクティブコミッティーとの関係改善を目的として、また各コミッティーのあり方を定めるものとして、クラス協会規約の改正と付則の制定にまで論議が及んだ。

○会計報告

プロモーション基金が前年に比べ 2/3 に落ち込んでいることから、プロモーション担当者が自ら新規スポンサーを開拓できるような仕組みにすべきではないかとの声もある。

別紙参照

○役員交代・新役員選出

エグゼクティブコミッティー

会長 -- Bob Turner (GBR)、Rudy Wolfs (CAN)

副会長 - Jim Farmer

会計 - Rodger Harden (USA)

欧州代表 - Remco who (NED)

全州代表 -- Geoff Evelyn (CAN)

次期ワールド開催地役員 - Allan who (AUS)

テクニカルメンバー - John Peck (USA)

プロモーション - Nancy Zangerle (CAN)

テクニカルコミッティーと残る任期

設計者代表 - Hank Killion

John Peck (USA)、Reid Stava (USA) ……1 年

Kenneth Porter (MEX)、Stuart Jardine (GBR) ……2 年

Lorne Chapman (CAN)、Guntar Mullur (BRA)、Neal someone (NED)、John Cranford (AUS) ……3 年

○ルール変更等について

ルール改正案として 12 項が提案されたうち、8 件が承認、2 件が修正を加えられ承認、1 件が否認され、1 件がテクニカルコミッティーに再検証を求めることになった。「Cheaper, Easier, Simpler to Sail for All of Us.」を掲げ、クラスの魅力と競争性の回復するため、セイラーの現状に基づくルールの簡易化、J/24 というインショアのデイボートには形骸的でしかない必要備品の排除によるセイラーへの負担軽減を目指し、クルーを除くレースの為に最低総重量が1375kgから1345kgになったのは特筆すべきことである。承認を受けた案はテクニカルコミッティーによりクラスルールをふまえ調整され、2006 年 11 月の ISAF ミーティングに提出される。認可されたものが発効するのは 2007 年 3 月 1 日。詳しくは別紙参照。

○世界選手権・大陸選手権についての報告

<世界選手権大会>

- ・2006年 オーストラリア(AUS)メルボルンにて開催(Sandringham Y.C.主催 <http://www.syc.com.au/>)

豪州選手権:1月7-8日 登録&計測

8日 開会式

9-13日 レース

13日 表彰式

世界選手権:1月13-15日 登録&計測

15日 午後:インビテーションレース

15日 開会式

16-20日 レース

20日 表彰式

詳細情報:http://www.j24australia.com/view.asp?content=worlds_index

- ・2007年 メキシコ(MEX)アカプルコにて開催。Club de Yates de Acapulco が主催
- ・2008年 イタリア(ITA)サルディニアにて開催予定

<ヨーロッパ選手権>

- ・2006年 イギリス(GBR)パークストーンにて開催
- ・2007年 ドイツ(GER)にて開催

<北米選手権>

- ・2006年 アメリカ(USA)ニューヨーク/ロチェスターにて開催 9月20~24日

<南米選手権>

- ・2006年 ペルー(PER)にて開催

○次回(2006年度)WCM

2006年の世界選手権が1月に開催されるため、その期間中にWCMは開催しない。理想としては、テクニカルコミッティーが11月のISAFキールポート・コミッティー・ミーティングに備えるのに適切な時間を取れるよう、9月に行いたい。国際空港があり、安価な宿泊施設を手配可能な国であれば、開催地としての立候補を受け付け、通例、物価と利便性を考慮し決定する。

2005-06 クラスルール改正報告

(I) 2005-06 クラスルール改正の背景

新出のスポーツボートへクラス人口の流出を防ぐため、厳格な規則や計測を簡易化し、形骸化した必要備品を撤廃するなど、艇の維持コストの負担減、現セイラーの希望や実情に沿うクラスルール作成を目指す。ただし、急激なセーリング重量の軽減などは、それに合わせるのが困難な艇のレース離れを招くという懸念もある。

2005年度WCMにおいてはルール改正案として12項が提案されたうち、8件が承認、2件が修正を加えられ承認、1件が否認され、1件がテクニカルコミッティーに再検証を求めることになった。「Cheaper, Easier, Simpler to Sail for All of Us.」を掲げ、クラスの魅力と競争性の回復するため、セイラーの現状に基づくルールの簡易化、J/24というインショアのデiboートには形骸的ではない必要備品の排除によるセイラーへの負担軽減を目指し、クルーを除くレースの為の最低総重量が1375kgから1345kgになったのは特筆すべきことである。

承認を受けた案はテクニカルコミッティーによりクラスルールをふまえ調整され、2006年11月のISAFミーティングに提出される。認可されたものが発効するのは2007年3月1日。

(II) 改正項目一覧

(規則) (内容)

(3.2.4) シンクとストーブの必要性

(3.6.1) 必要備品としてのセール重量の扱い方

(3.7.3) レース重量の軽減

(3.8.5) ビルジポンプの必要性

(3.8.7) アンカーの必要性

(3.8.8-9)

(4.1.2) 航海灯

(4.1.4) フォグホーン

(4.1.5) 懐中電灯

(4.1.7) ライフジャケット

(4.1.9) スタンディングリギン切断用具

(4.1.10) 救急箱の必要性

(Ⅲ)改正の詳細

クラスルール 3.2.4(ハル)

<2番目の文章を完全に削除>

(現行規則) メインバルクヘッド後方のスターボードサイドのキャビンモルディングには、ドレインとウォータータンク付きのシンク、もしくは重量が1.80kg以上の取り外し可能な液化石油ガスまたはアルコール容器をもつストーブを取り付けなければならない。シンクは5リッター以上の容量を持つプラスチック容器に排出するか、艇外ヘスルーハルフィッティングを使って直接排出するか、その両方の手段を使うかしなければならない。

(改正案) メインバルクヘッド後方のスターボードサイドのキャビンモルディングには、ドレインとウォータータンク付きのシンク、もしくは重量が1.80kg以上の取り外し可能な液化石油ガスまたはアルコール容器をもつストーブを取り付けなければならない。

(改正案英文) The cabin moulding on the starboard side aft of the main bulkhead shall be fitted with either a sink and drain and water tank or a stove with a separate liquid petroleum gas or alcohol container of not less than 1.80kg in weight.

理由(1):事実上の外洋レース用品を削除し、軽量化を図るため。

理由(2):ルールを明確化し、会員の意向に沿ったものにするため。

クラスルール 3.6.1 (セール)

<セール重量を追加記載>

(現行規則) 規則6.1.7に規定されたものを除き、レース中メインセール、ジェノア、ジブ、スピナーカー各1枚しか搭載してはならない。

(改正案) インベントリーリストに記載されるセール総重量は常に、21.5kgでなければならない。クラスルール3.7.3参照。

(改正案英文) The total sail weight entered on the Inventory shall always be 21.5 kgs, see rule 3.7.3

理由(1):インベントリーリストの簡略化。

理由(2):オーナーの過失を防ぎ、インベントリーリストを記入する際に不必要なセール重量を排除するため。

クラスルール 3.7.3(レースの為の重量) →2ヵ月後に再び採決

<1375kgを1345kgに変更>

(現行規則) クルーを除いたレースの為の総重量は1375kg以上でなければならない。この重量には規則3.7.1の全ての項目が含まれていなければならない。規則3.6(セール)、規則3.8.4~3.8.9(レース中に積み込まれる備品)、及び規則6(オプション備品)を含んでも良い。規則3.7.1に含まれていない全ての備品については重量を計り、必要備品及びオプション備品のインベントリーリストに記載しておかなければならない。このインベントリーリストは、レース中ヨットに搭載しておき、レース委員会のインスペクションを受けられるようにしておかなければならない。また、このインベントリーリストには、規則3.7.1に含まれている項目と、規則3.7.2で必要とされる修正重量も記載しておかなければならない。レースの為の総重量の一部として特に計算から除外されるものは、個人の衣類と用具、食料、調理器具と貯蔵品、及び規則6.1.26で許可された以外の飲料とする。

(改正案) クルーを除いたレースの為の総重量は1345kg以上でなければならない。(以下同文)

(改正案英文) The all-up weight for racing, excluding the crew, shall be not less than 1375kg. (Remainder of the Rule to remain as is published.)

理由(1):新しいワンデザインクラスの台頭に伴い、J/24の競技性を回復させるため。

理由(2):事実上外洋レース用備品を削除し、艇の維持管理費用への負担の軽減を図り、クラスルールが会員の意向に沿ったものにするため。

クラスルール 3.8.5(固定部品とレース時に積み込まれる備品)

<手動のビルジポンプを削除>

(現行規則) 手動のビルジポンプ1個と容量10リッター以上のバケツ1個。

(改正案) 容量10リッター以上のバケツ1個。

(改正案英文) A minimum of one bucket of minimum capacity 10 litres.

理由(1):J/24では容量10リッター以上のバケツ1個があれば手動のビルジポンプは不要なため。

理由(2):ルールの簡略化を図るため。

クラスルール 3.8.7(固定部品とレース時に積み込まれる備品)

<浮かないロープという記述を削除し文章を簡略化>

(現行規則) 40m、直径8mm以上の浮かないロープを付けた、あわせて6kg以上のチェーンつき又はチェーン無しのアンカー1個。搭載中、アンカーチェーンはアンカーに取り付けるものとし、バラストキール上のキャビン床の上や下に収納してはならない。アンカーの重量は3kg以上とし、搭載されるチェーンの重量は6kg以下でなければならない。

(改正案) 6kg以上のアンカー1個、もしくは3kg以上のアンカー1個にチェーンを取り付けて合計が6kg以上になるもの。これに40m、直径8mm以上のロープを付けたもので合計重量が8kg以上のもの。

(改正案英文) One Anchor (Min weight 6 kgs) or One Anchor (Min 3 kgs) and chain attached (Combined weight Min 6 kgs). Plus 40 m of 8 mm Warp attached. Total Minimum weight 8 kgs.

理由(1):「浮かない」ロープである必要はなく、セーリング重量の軽量化を図るため。

理由(2):ロープはインベントリーリストに別の項目として存在するため。

クラスルール 3.8.8-9(固定部品とレース時に積み込まれる備品)

<3.8.9を削除し、新条項を3.8.8と差し替える>

(現行規則) 3.8.8 14kg以上の船外機1個。使用していない時は、どちらかのメインバースの下か、コンパニオンウェイの敷居の後方にしっかり固定して収納しなければならない。

3.8.9 2リッター以上の燃料を入れた、その国で認められた、もしくはその地方の規制に適合したタイプのコンテナ1個。

(改正案) 14kg以上の船外機と2リッター以上の燃料を入れた容器1個、もしくは16kg以上の船外機1個。船外機はメインバースの下か、コンパニオンウェイの敷居の後方に収納してよい。クラスルール4.3参照。

(改正案英文) One outboard engine of minimum weight of 14 kgs and a container with minimum of 2 liters of motor fuel or one outboard engine of minimum weight 16 kgs . The outboard may be stored under a main berth or aft of the companionway sill. See Rule 4.3

理由(1):16kg以上の船外機は、外付けの燃料タンクを必要としないため。

理由(2):セーリング重量の軽量化に伴い、大型船外機を使用している艇の救済策として。

理由(3):地方の港湾法によっては大型船外機でも燃料タンクの搭載を義務付けることがあり、またクラスルール4.3がこれをカバーしているため。

クラスルール 4.1.2(レース中の安全規則)

(現行規則) 恒久的に取り付けられた点灯可能な航海灯。

(改正案) 全文削除

(改正案英文) Not in use.

理由(1):クラスルール 4.2、N、R、帆走指示書がこの点についてカバーできるため。

理由(2):費用と重量を軽減、クラスルールの簡略化を図るため。

クラスルール 4.1.4(レース中の安全規則)

(現行規則) フォグホーン1個。

(改正案) 全文削除

(改正案英文) Not in use.

理由(1):クラスルール 4.2、N、R、帆走指示書がこの点についてカバーでき、標準的クラスレースにおいては必要不可欠とはいえないため。

理由(2):費用の軽減とルールの簡略化を図るため。

クラスルール 4.1.5(レース中の安全規則)

(現行規則) 防水懐中電灯1個。

(改正案) 全文削除

(改正案英文) Not in use.

理由(1):クラスレースには必要ではなく、クラスルール 4.2 がこれをカバーできるため。

理由(2):クラスルールの簡略化を図るため。

クラスルール 4.1.7(レース中の安全規則)

(現行規則) クルー全員分のライフジャケット又は個人用浮力体。

(改正案) クルー全員分のライフジャケット又は個人用浮力体。重量はインベントリーリストに含まない。

(改正案英文) Life Jackets or personal buoyancy equipment for each member of the crew. Weight not to be included on the Inventory list.

理由(1): RRS Part 1 -Fundamental Rule 2.1 が全ての競技者に対しこれをカバーしており、ルールの簡略化を図るため。

理由(2): 現状ではクルー各自がそれぞれ重さの異なるライフジャケットを所有しており、クルー交代がインベントリーリストにも影響してしまうため。

クラスルール 4.1.9(レース中の安全規則)

(現行規則) スタンディングリギン切断・分離用器具。

(改正案) 全文削除

(改正案英文) Not in use.

理由(1): インシオアレースでは不要。

理由(2): 費用の軽減とルールの簡略化を図るため。

クラスルール 4.1.10(レース中の安全規則)

(現行規則) 救急箱1個と説明書。

(改正案) 全文削除

(改正案英文) Not in use.

理由(1): クラスルール 4.2 に含まれており、N of R や帆走指示書でこれをカバーできる。

理由(2): インベントリーリストには不要であり、クラスルールの簡略化を図る。